

本試験での的中例です！

テーマ		正解肢	2023年全国公開模擬試験	2023年度賃貸不動産経営管理士試験
登録	賃貸住宅管理業の意義 (営利性)	正解肢	<p>2023年全国公開模擬試験 第2回</p> <p>【問 34】 賃貸住宅管理業の登録（以下、本問において「登録」という。）に関する次の記述のうち、管理業法によれば、正しいものはいくつあるか。 ア 賃貸人から委託を受けて無償で管理業務を行う場合には、事業全体において営利性があると認められるときであっても、登録を受ける必要はない。 (誤)</p>	<p>2023年度賃貸不動産経営管理士試験</p> <p>【問 31】 賃貸住宅管理業者の登録に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。 1 賃貸人から委託を受けて無償で管理業務を行っている場合、その事業全体において営利性があると認められるときであっても、賃貸住宅管理業者の登録が必要となることはない。 (誤)</p>
重要事項の説明 (電話での説明)	内容を理解したことの 確認	正解肢	<p>2023年全国公開模擬試験 第2回</p> <p>【問 3】 管理受託契約期間中又は契約更新時に管理受託契約重要事項の変更を内容とする契約（以下、各問において「管理受託契約変更契約」という。）における電話による重要事項説明に関する次の記述のうち、管理業法の規定によれば、正しいものはいくつあるか。 イ 賃貸人が、管理受託契約変更契約の重要事項説明書等を確認しながら説明を受けることができる状態にあることについて、賃貸住宅管理業者が重要事項説明を開始する前に確認していなければならない。 (正)</p>	<p>2023年度賃貸不動産経営管理士試験</p> <p>【問 3】 管理受託契約変更契約の重要事項説明を電話で行う場合に関する次の記述のうち、正しいものはいくつあるか。 ウ 賃貸人が、管理受託契約変更契約の重要事項説明書を確認しながら説明を受けることができる状態にあることについて、重要事項説明を開始する前に賃貸住宅管理業者が確認することが必要である。 (正)</p>
管理業者・ 業務管理者	業務管理者による他の 営業所との兼務		<p>2023年全国公開模擬試験 第2回</p> <p>【問 30】 管理業法における業務管理者に関する次の記述のうち、正しいものはいくつあるか。 ウ 業務管理者は、一時的なものであれば、他の営業所又は事務所の業務管理者を兼務することができる。 (誤)</p>	<p>2023年度賃貸不動産経営管理士試験</p> <p>【問 27】 賃貸住宅管理業者及び業務管理者に関する次の記述のうち、正しいものはいくつあるか。 ア A 営業所の業務管理者は、B 営業所の業務管理者がやむを得ない事情で業務を遂行することができなくなった場合には、B 営業所の業務管理者を兼務することができる。 (誤)</p>
賃貸業への 支援業務	予算の達成が難しく なった場合		<p>2023年全国公開模擬試験 第2回</p> <p>【問 45】 賃貸不動産経営管理士に期待される役割等に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。 1 賃貸不動産経営管理士は、賃貸住宅の経営者の予算と実績の差異を把握するだけでなく、目標とされる予算を達成することが厳しくなった場合には、その原因を分析し、賃貸住宅の管理運営の専門家としての能力を活用して、収益の向上と必要経費の削減からの対応策を検討し、賃貸人に提言していく。 (適切)</p>	<p>2023年度賃貸不動産経営管理士試験</p> <p>【問 43】 賃貸不動産経営管理士が行う、賃貸不動産経営を支援する業務に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。 2 賃貸不動産経営管理士が行う予算管理には、予算計画書や収支報告書の作成があるが、目標とする予算を達成することが難しくなった場合は原因を分析し、収益の向上と費用の削減の観点から対応策を検討し、賃貸人に提言する役割を担うことが期待される。 (適切)</p>